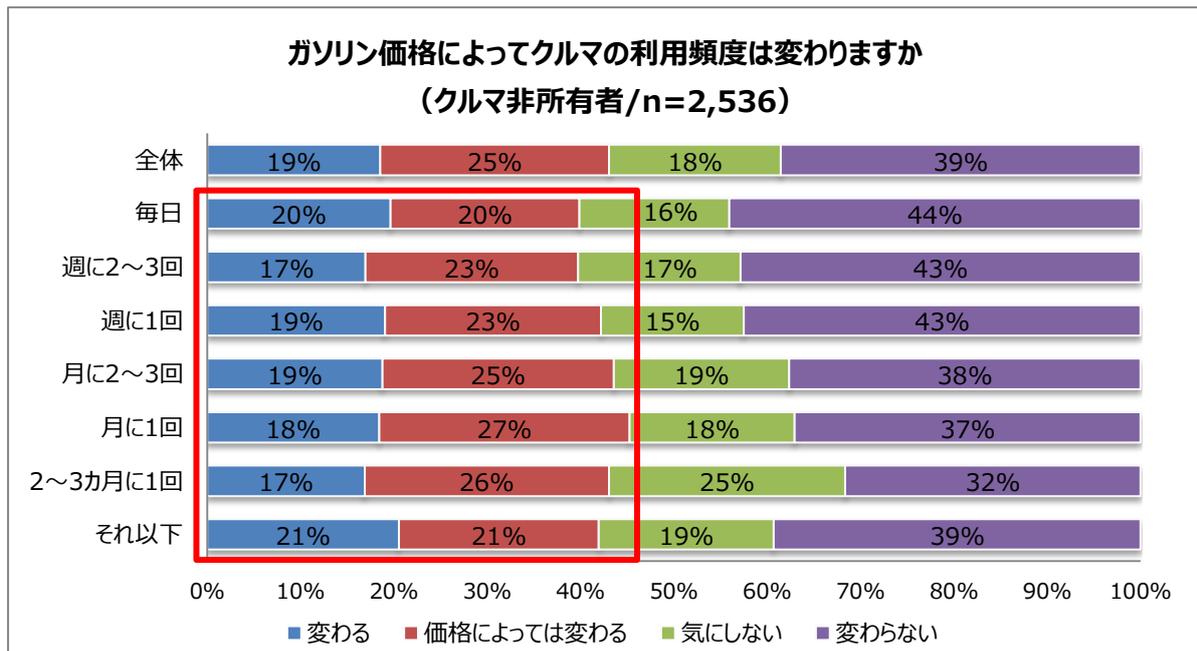
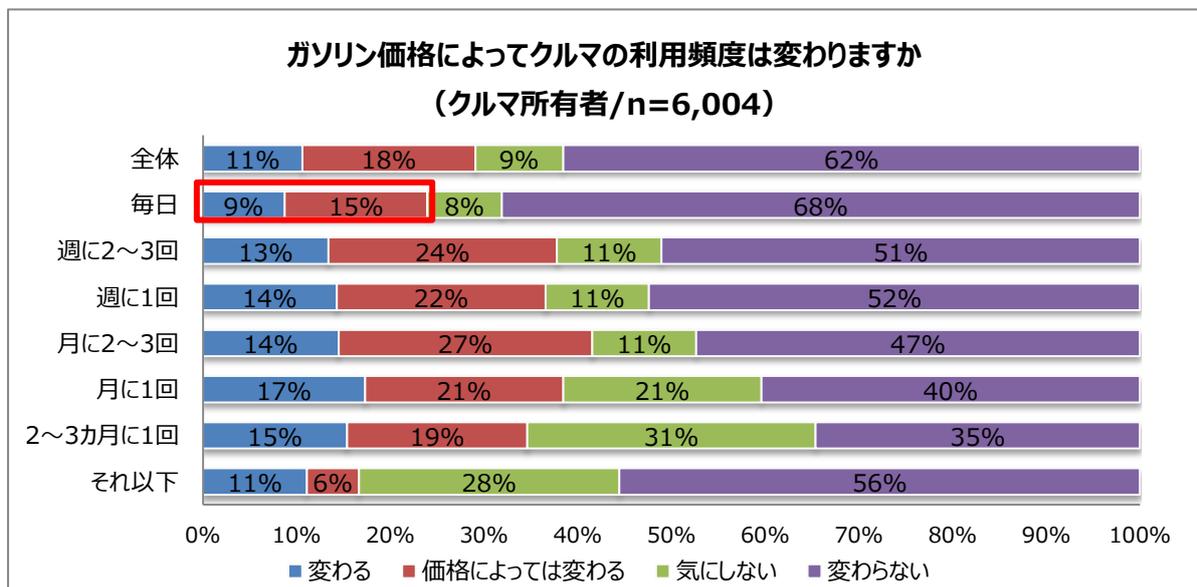




さらに、クルマの所有状況/運転頻度別で比較すると、非所有者では運転頻度による傾向の違いが見られませんでした。

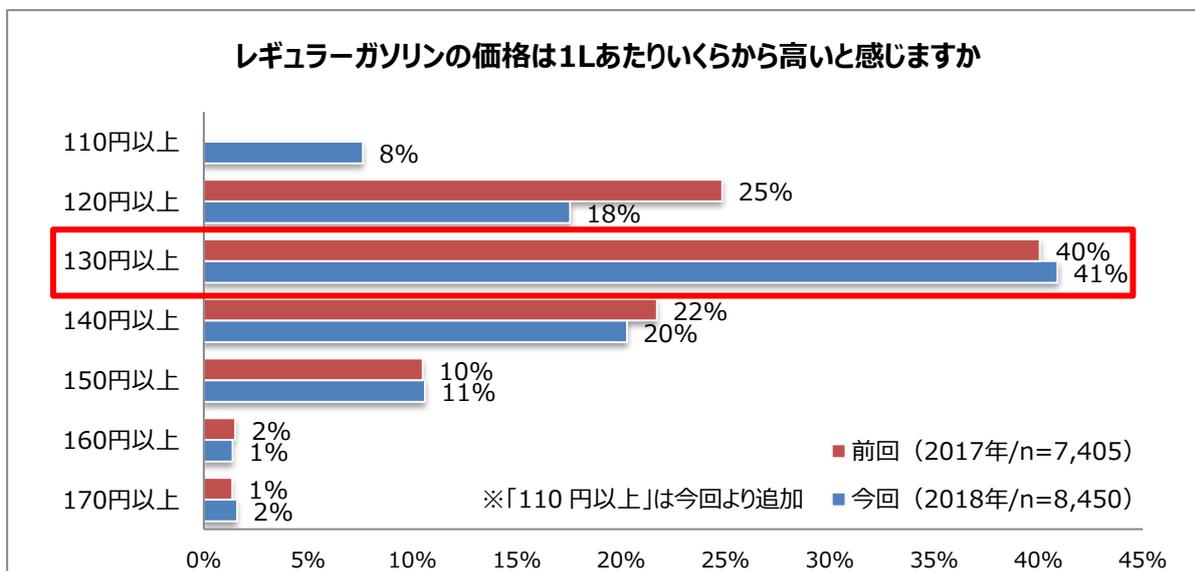


所有者ではクルマを「毎日」「2~3 か月 1 回以下」運転する人は、ガソリン価格によってクルマの利用頻度が「変わる」「価格によっては変わる」のスコアが他よりも低い結果となりました。「毎日」運転する人は、クルマを使わざるを得ない状況にあることからガソリン価格がクルマの利用頻度に影響しないものと思われます。

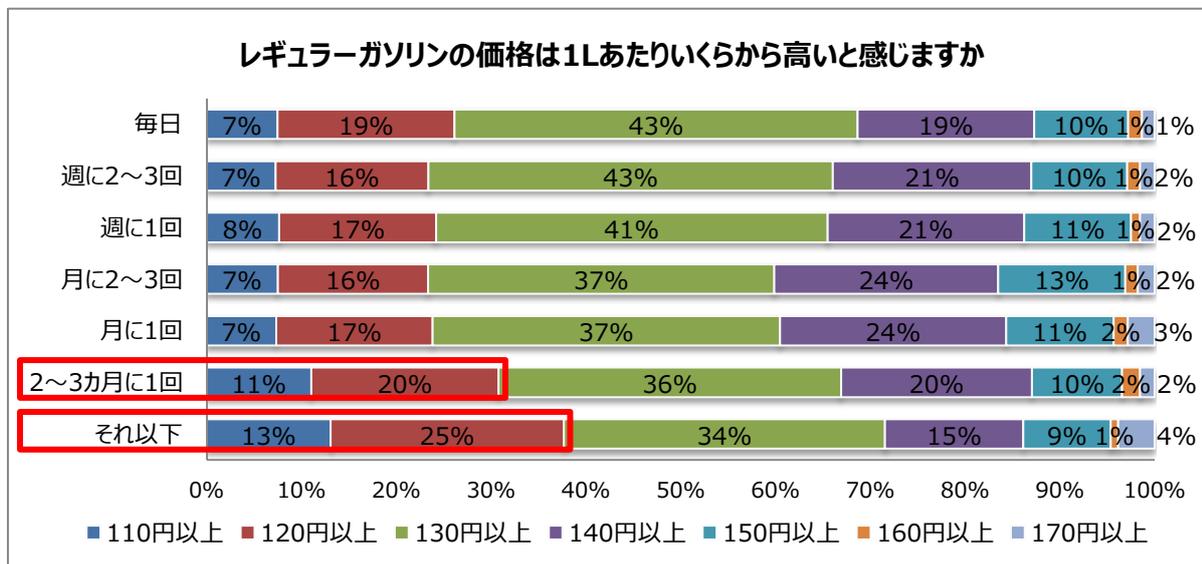


## ② 高いと感じるレギュラーガソリン価格は「130円/L以上」が最多

高いと感じるレギュラーガソリン価格は、「130円/L以上」が41%で前回同様、最多となりました。次いで「140円/L以上」が20%、「120円/L以上」が18%でした。



クルマの運転頻度別でも、すべての運転頻度において「130円/L以上」が最多となっています。一方で、運転頻度が「2~3カ月に1回以下」では「110円/L以上」と「120円/L以上」の合計が30%を超えているのに対し、「月に1回以上」では30%未満となっており、ガソリン価格に対する感覚の違いが見られました。

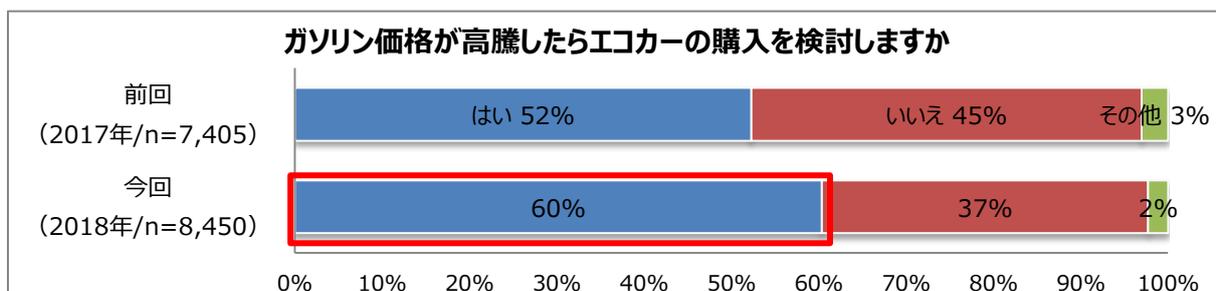


## ③ ガソリン価格の高騰時、60%がエコカーの購入を検討

ガソリン価格が高騰した場合、60%の人が「エコカーの購入を検討する」と回答し、前回より8ポイント増加しました。今回の調査時（2017年12月）のガソリン価格は、87%の人が高いと感じる141.4円\*だったことが影響しているものと思われます（前回調査時（2017年6月）のガソリン価格は130.6円\*）。

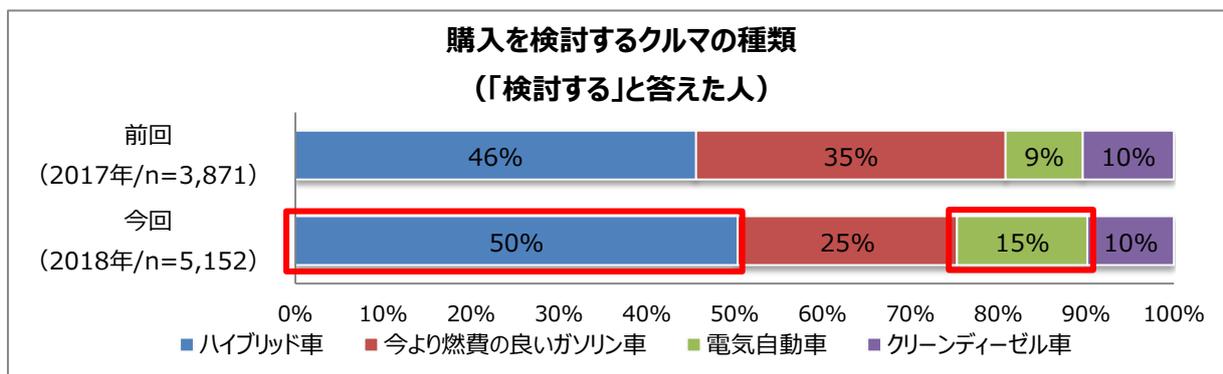
「その他」として、「既にエコカーに乗っている」「クルマの購入予定がない」といった回答があげられました。

※資源エネルギー庁「給油所小売価格調査」



ガソリン価格の高騰時に購入を検討するクルマの種類として「ハイブリッド車」をあげる人が50%で最多、次いで「今より燃費の良いガソリン車」が25%、「電気自動車」が15%となりました。

前回と比べると、「ハイブリッド車」の購入を検討するという回答が4ポイント増加、「電気自動車」は6ポイント増加しました。



2018年5月末にはレギュラーガソリンの小売価格が150円/Lを超え、その後も150円台で推移しています\*。これからの行楽シーズンにクルマでの遠出を予定されている方は、今後の推移が気になるものと思われます。

カーシェアリングの利用料金にはガソリン代が含まれていることから、ガソリン価格を気にせずにご利用いただけます。夏のお出掛け時の移動手段として、カーシェアリングを検討されてみてはいかがでしょうか。

※資源エネルギー庁「給油所小売価格調査」

### ■ 調査概要

調査対象：タイムズクラブ会員

（2016年12月4日以降に入会し、直近でタイムズ駐車場・B-Times・タイムズカープラス・タイムズカーレンタルを利用された方）

調査方法：非公開型インターネットアンケート

調査期間：2017年12月4日～2017年12月10日

有効回答者数：8,540名